

「第二次松戸市社会教育計画（案）」のパブリック
コメント（意見募集）手続結果について

パブリックコメント（意見募集）実施結果概要

1. 意見募集の期間 令和5年1月16日（月）～令和5年2月15日（水）
2. 意見提出方法 メール2件、ファックス1件、ちば電子申請9件、持ち込み1件
3. 資料閲覧方法 松戸市公式ホームページ、社会教育課、行政資料センター、松戸市民活動サポートセンター、各支所及び図書館
4. 意見提出者数 10名
5. 意見件数（総数） 37件
6. 回答件数（総数） 37件
7. 集計結果および意見件数内訳

項目	意見件数
第1章 計画の概要	0
第2章 松戸市の状況と社会教育をとりまく課題	2
第3章 計画の基本的な考え方	3
第4章 施策の方向と計画事業	24
第5章 計画の推進に向けて	0
資料編	0
その他（全体に係る意見など）	8
第二次松戸市社会教育計画（案） 概要版	0
計	37

8. 意見内容および市の考え方 別添のとおり

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
1	その他	記載なし	歴史・国際・文化交流について、市立博物館の図書コーナーに「慶應三年アラビア馬の受領と小金牧牧士の飼育伝習御用」(岡宏三)という書籍があります。内容に、フランス人調教師が出てきます。松戸市エリア内での異国文化交流はいつからなのでしょう?湿地の野馬から始まる平安時代からの騎馬武者文化と国際交流。この時代での「伝習」とは西洋文化の習いとなる貴重な機会を表す2文字と思います。例えば、長崎英学伝習所など。現在の松戸市エリアの歴史として国際交流の歴史として取り上げることが希望します。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見を関係部署と共有させていただきます。	無
2	その他	記載なし	どこで学ぶ システム作りについて、NHK「今日の料理」村上信夫のビデオを活用して、・家庭料理の作り方・優しい伝え方・道具の使い方などを事例に教材にしてみたいと思います。市内にも、同時期に帝国ホテルで修行されていた方、影響を受けて料理人になった方などもいらっしゃいます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。事業推進の方策に係るご要望として、参考にさせていただきます。	無
3	その他	記載なし	学ぶ環境 システムについて、地形の勾配・地質・史跡位置迂回から通した、・水戸街道と常磐線・国道6号線・鮮魚街道と新京成線(旧陸軍鉄道第二連隊演習線)の建設について取り上げられてはと思います。 特に鉄道は勾配落差に弱く鉄道建設においてルート選択と勾配を埋める土手・レンガ隧道など低地流域や河岸岸段丘の際と寺社領位置など市内ロジスティクスの礎について地形・地質などの観点で取り上げられてはと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見を関係部署と共有させていただきます。	無
4	その他	記載なし	視点I 学ぶ内容・機会「何を学ぶ」 市役所庁内各フロアに「松戸市歴史手引き」の設置を希望します。鮮魚街道は何のため、どのような機能を果たしたのか、道中の五助木戸から延びる旧道のハブ的役割、銚子屋、アラビア馬飼育伝習御用など	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見を関係部署と共有させていただきます。	無
5	第4章 施策 の方向と計画 事業	P30 (P27)	「子どもの読書推進」ですが、小学校で読み聞かせのボランティアをしています。日頃、読み聞かせのあと、学校の図書室で同じ本を借りたと言ってくれる子どももいて必要性を実感しています。ただ、慣れないことで迷いながらやりましたが、先日子どもの読書推進センター主催の読み聞かせ講座に参加して、本の読み方やさまざまな本の紹介などとても勉強になりました。講座以外でも、推進センターが読み語りボランティアの駆け込み寺のような役割があったら、安心してボランティアに参加できるのではないかと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見を関係部署と共有し、事業推進を図って参ります。	無
6	第4章 施策 の方向と計画 事業	P18~19、P28 (P18~19、 P26)	p.18-19に、「宇宙や科学の楽しさを知る機会の充実を図ります」とありますが、実態としては、p.26で示されているプラネタリウムの活用のみになってしまっているように思われます。 歴史あるプラネタリウムの活用は有意義であり、今後もさらに活性化されることを期待しますが、一方で(宇宙はまだしも)科学全体の社会教育をプラネタリウムだけに担わせるのは、無理があるように思われます。専門分野の問題に加え、市内に1か所しか拠点がなければアクセスの面で市民サービスを受用できる市民の地理的な偏在化が起こります。例えば新松戸駅前の新施設に科学教育の拠点を整備したり、青少年会館や図書館で科学関連の講座を開催したりするなど、近隣の柏市、流山市、鎌ヶ谷市などの図書館でおこなわれている取り組み等も参考にしつつ、取り組まれることを期待いたします。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 計画では、ハードとソフトの両面を備えているプラネタリウムを活用した事業を取り上げておりますが、青少年会館や図書館などでも、科学関連の講座を実施しています。今後も、同分野に対する学習機会の充実に取り組んで参ります。	無
7	その他	記載なし	※ 社会教育計画素案の中に、「図り」ますという表現が37か所出てきますが、そのうち18か所で、「り」がカタカナ表記になっているのが、とても気持ち悪いです。修正をお願いします。	誤字につきましてご指摘をいただきありがとうございます。 修正させていただきます。	有

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
8	第2章 松戸市の状況と社会教育をとりまく課題	P6、10 (P6、10)	「地域館・分館は市内に19か所もあり」「蔵書冊数は令和3年度に約63万冊まで増加しています」などと、まるでたくさんあるかのような表現をしているが、63万冊というのは全館合わせたの数字であり、本館は11万冊ちょっとしかない。他市区町村の分館の冊数である。まずは「図書館なび」や、全国の図書館の統計冊子などで現状把握して頂きたい。隣の葛飾区中央図書館を視察に行かれてはいかがでしょう？雲泥の差に落胆します。人口はほぼ同じ（葛飾区の方が若干少なく44万人）。中央図書館だけで35万冊。分館合わせると118万冊。中央図書館は夜8時まで開いている。席数も多くとても快適で、一日中でも過ごしたくなる。片や松戸市の本館は建物も古く、最上階に学習室のような部屋と席はたくさんあっても、そこまで本を持ち込まなければならず、とても長時間過ごしたくなるような環境ではない。利用率が上がるような環境づくりを早急に願いたい。キテミテマツドは用途不明のフロアがたくさんありそうなので、そちらに入ることも検討の余地があるのかもしれない。葛飾区立中央は駅から近いからと言われるかもしれないが、その隣の足立区立中央図書館は松戸よりもっと駅から離れていても、葛飾中央よりもっと素晴らしい環境。中央図書館だけで69万冊。分館合わせると175万冊。こちらも視察をお勧めする。これが同じ公立図書館かと愕然とした。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。施設の老朽化、狭隘化等、本市の図書館の課題については認識しているところです。いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の図書館整備にあたっての参考とさせていただきます。	無
9	第2章 松戸市の状況と社会教育をとりまく課題	P6 (P6)	山崎直子さんの通っていたプラネタリウムがあるとは、何十年も松戸市に住んでいながらつい最近まで知らなかった。利用者が少ないのはもったいなさ過ぎる。近隣市区町村からも呼び込めるようなPR活動をしてほしい。ホールは老朽化しており、早急に建て替え、様々な音楽家がコンサートを開けるようなホールにして頂きたい。東京から近いのにもっていない。また、入口付近にある公衆電話ボックスは車椅子でも利用できるような広さがあるが、傾斜の所に立っているため、車椅子では危なくて利用できないのでは？本当に車椅子で利用できるのかどうか試して頂きたい。スターツ流山おおたかの森ホールは、松戸市民会館ホールの半分くらいのキャパだが、音響効果も良く、ショパンコンクールで受賞したピアニストや、クラシックや他にも様々な音楽家が演奏するホールになっている。その奥は市民窓口センターになっている。こちらも視察をお勧めする。ここ数年で人口が5万人増で有名になっている流山市や、流山おおたかの森からも近い柏市の方がずっと魅力的な街づくりをしており、松戸はこのままではすたれていくと思う。映画館もないし、とにかく文化の香りがしない。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。松戸市民会館については、引き続きプラネタリウムの周知活動を積極的に行い、また市民が安全に利用できるような環境整備に取り組んで参ります。	無
10	その他	記載なし	<「音楽の街」施策に対する総論> ・対象が広範であるスポーツの振興に関して「松戸市スポーツ推進計画」を定めるように、芸術分野についても「松戸市芸術推進計画」を定め「音楽の街」への具体的施策はその下で運用するべきだと考えます。 ・この施策による事業が社会教育委員の助言をもって推進されるならば社会教育委員に音楽分野の有識者を加えることが必須であると考えます。 ・にぎわい創造課ほか各事業課が行う音楽関連事業との連携共存を図り目的と成果の違いを市民とともに共通認識する必要があります。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の事業推進や市長部局を含む他課との連携にあたっては、いただきましたご意見を参考に、取り組んで参ります。	無
11	第3章 計画の基本的な考え方	P19 (P19)	<社会教育計画(案)に対する各論> I-1-4「音楽のまち松戸」を推進します ・芸術分野での学びの推奨に音楽のみを特記して良いものか疑問です。 ・この表題は「芸術に接する機会を、特に音楽に注目して推進します」と表現することが適切ではないかと考えます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。「音楽のまち松戸の推進」については、現状の本市の「強み」を強化していくという考えで記載しているところです。計画の推進にあたってはいただいたご意見を踏まえ、様々な芸術分野についての学びを推進して参ります。	無

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
12	第4章 施策 の方向と計画 事業	P25 (P23)	【No.13 松戸音楽フェスティバルの開催】 ・事業の推進を単独行事で解決するべきではないと考えられますので、以下の表現を提案します。 【音楽の実践・鑑賞一体型イベントの開催】 <事業名称>市民による音楽学習及び成果発表の推進 <事業内容>学校や市民による音楽活動の機会提供と成果発表の支援を行い、市民に周知し、講演会や演奏会を通じた市民のコミュニティ醸成をはかります。 <指標>市文化施設等で開催される音楽に関する講座・演奏会の開催回数及び参加者・出演者・観客数	松戸音楽フェスティバルは、市長部局の関係課も含む実行委員会形式を取っており、事業単位での連携を図っている一例として、計画事業推進の度合いを示す指標に取り入れたものです。具体的にお示し頂いた市民の音楽学習や成果発表に関する支援につきまして、市民ニーズの把握に努め、適宜取り組んでいくべきものと考えております。	無
13	第4章 施策 の方向と計画 事業	P32 (P28)	【No.29 文化施設的环境整備】 ・現在、松戸市の文化施設は市民音楽活動の発表会場として一定の充足を見ていますが、日頃の練習活動では音量の制約等により利用可能施設が十分とはいえない状況にあります。 ・施設の整備にあたっては既存施設の防音対策等による活動拠点の増加を視野に入れて頂きたいと希望します。	活動の場となる各施設的环境整備につきまして、市民ニーズの把握に努め、適宜取り組んでいくべきものと考えております。	無
14	第3章 計画 の基本的な考 え方	P19 (P19)	II-2-4 文化・社会教育と学校教育の連携を推進します。 ・音楽を例にすると、中学校までの部活動で培ったものが卒業で一旦途切れてしまい、進学や就職で新たな学びを得ようとする場合に「場」に出会えずそのまま自発的学習活動が終了する事例を多く見受けられます。 ・ここで18歳から30歳程度までの若者を対象に、学校の課外活動で得たスキルを活かせる市民活動やその団体について、公の立場で紹介しマッチングをはかる仕組みが必要と考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。各団体の情報発信を促進し、活動を支援する「まつどまなびいネット(生涯学習活動情報提供システム)」について、令和5年2月にリニューアルを図ったところです。ご意見を頂いている若年層を含め、幅広く市民への情報提供に努めて参ります。	無
15	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	【No.35 (仮称)生涯学習人材バンクの開設】 ・当事業の方向性は前述の学校連携と共に「部活動の地域移行」に大きく関与するものと思料されますので、後述の条件は必須と考えます。 ・アマチュア学習者の成果にはバラツキがあり、その学習成果をもって指導にあたるには能力的に不十分であることへの再認識が必要です。	(仮称)生涯学習人材バンクに関しましては、地域の多様な人材が連携し、子どもたちを始め市民の学びを支える仕組みとして検討を図っていきます。特に、部活動の地域移行にもつながるような仕組みの部分につきましては、いただいたご意見も踏まえながら、リスク管理も十分に検討しより良い仕組みづくりを考えて参ります。	無
16	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	【No.35 (仮称)生涯学習人材バンクの開設】 ・これをボランティアで行うにあたり、指導計画や指導可能範囲の見極めについて顧問教員を含めた指導者間で十分協議できる体制が必要です。	意見No.15に記載のとおりです。	無
17	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	【No.35 (仮称)生涯学習人材バンクの開設】 ・指導にあたる人材には、事前に専門家による指導者講習等を行ったうえで、事後もフォローできる体制を整える必要があるものと考えます。	意見No.15に記載のとおりです。	無
18	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	市民団体による社会教育を推進する役割と、市民団体を通じて社会教育を受けることについての方針が欠落していることから、市民団体をその担い手として加える必要がある。 (提案理由)活動の内容が、行政を中心とする既存の組織による活動を中心としており、自由な活動が可能な市民団体により推進する視点が欠けている。行政中心の運動では、多様化する社会の中で市民のニーズを十分満たせないし、行政もこれらの負担に限界があることから、時代の要請に答えられず、結果的に目的が十分に達成されない恐れがある。社会教育事業の重要な担い手として、市民団体の活動を加えるべきである。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。令和5年2月にまつどまなびいネット(生涯学習活動情報提供システム)のリニューアルを図り、4月からは従来の社会教育関係団体に加え、市民活動団体の情報を公開する予定です。引き続き各団体の活動支援に取り組んで参ります。	無

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
19	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	教育の実践事項の中に、「いのち」や「生活・自然環境」を守る項目が見当たらないことから、それらを加えるべきである。 (提案理由) 情報化社会が一層進む社会では、市民が、生きる元である「いのち」とそれを支える「環境問題」について、子供から大人まで学びながら実践することが必要と思われるが、その部分が基本計画に全く触れられていない。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。事業推進の方策に係るご要望として、参考にさせていただき、引き続き多様な学びの機会を提供して参ります。	無
20	その他	記載なし	平成27年に策定された「松戸市図書館整備計画」に則り、速やかに図書館政策を進めて下さい。要望はこの一点です。図書館は社会教育の要、更に言えば生涯学習の要です。図書館はその町の姿勢が如実に反映される。図書館を見ればその町が分かると言っても過言ではないと常々思っております。あの素晴らしい計画がいつになったら生かされるのでしょうか。私たちはいつも注視しています。 このようなパブコメを何度行えば先へ進められるのでしょうか。行政の方々は3年程の短期間で担当部署を移動してしまします。その短期間を大過なく過ごせば後は責任を問われることも無いのでしょうか。ですから、パブコメで寄せられた市民からの意見を重く受け止める事も無いまま、同じようなパブコメを繰り返すという事になるのではないかとさえ思ってしまう。担当される行政の方々とは違って、私達市民は現実に松戸市に住み続けねばなりません。誰でも自分の住んでいる町が良くなって欲しいと望んでいるはず。その思いを込めて、パブコメを書いています。しかし、市民のその思いは果たして本当に政策に反映されるのでしょうか。いつも甚だ疑問に思っております。1人のパブコメの背後には同様に思っている市民が何人存在するのかにどうか思いを巡らせてください。切にお願い申し上げます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。図書館整備については、特に重要な課題として認識しておりますので、ご要望として参考にさせていただき、計画を推進して参ります。	無
21	その他	記載なし	こちらの(案)について、図書館推進の団体の皆さんと意見交換をした際に「社会教育」という表現自体がすでに古いのでは?という有識者からのご意見がありました。近隣他市で気になるところを調べたところ、図書館推進が進む浦安市では「第二次浦安市生涯学習推進計画」となっており、内容は松戸市ととても似ていた。計画の中心にあるのが「市民一人一人が生涯学び続ける」なので、そこを目指すのであれば「生涯学習」という視点での計画立案の方が市民にも伝わりやすいと感じた。 「浦安第2次浦安市生涯学習推進計画」令和2年度～令和11年度 https://www.city.urayasu.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/457/gaiyousyougai.pdf	貴重なご意見いただきありがとうございます。本市では生涯学習の一部として「社会教育」と「学校教育」を含む指針「学びの松戸モデル」を策定しており、この指針に基づく、社会教育部門の計画として本計画を策定しております。	無
22	第3章 計画 の基本的な考 え方	P18、19 (P18、19)	★基本理念と施策の体系について 施策の体系の順番で基本施策1に「歴史・文化・伝統・芸術を学ぶことができるようにします」で基本施策2に「市民の主体性を育みます」が来ているが逆ではないのか?松戸市は近隣の流山・柏市に働き盛りの市民が転出していると聞く。文化よりもまず市民の自己実現や生活の質を高めていくことが最優先ではないか?(このための学びの場や施策があるべきでは?)市民が自分が住む街に住む価値観を見出すことでおのずと地域や街の文化は活性化していると考えます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。本計画の体系は、教育委員会の指針として策定された「学びの松戸モデル」に基づき、いずれの施策も基本理念、期待する姿に向けて推進していくべきものと考えております。	無
23	第4章 施策 の方向と計画 事業	P27 (P25)	・No.18「地域や家庭の教育力を育む家庭教育事業の充実」 目標値が現状から実現可能性の範疇ではあるが、家庭教育事業は共働き世帯が増えている状況に合わせ、家庭や学校でのトラブルになりやすいスマホやインターネット講座、性教育、不登校など身近なテーマを扱った講座をオンライン等で行うことで参加者の増加を見込めるのでは?と思う。(MC R学級の取り組み事例などに今後期待します!)	推進のための方策を具体的に検討していくこととなりますが、令和4年度では家庭教育事業のなかで「スマホトラブル」や「思春期の子ども」をテーマにした講座のほか、オンラインを活用した講座も実施しています。今回頂戴したご意見をはじめとし、市民のニーズに幅広く対応できるよう努めて参ります。	無

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
24	第4章 施策 の方向と計画 事業	P28 (P25)	<p>・No.20「社会教育団体と市民の学びをつなげる情報システムの活用」 目標値が2倍近くになっているが「まなびいネット」そのものの認知が低いと感じる。より積極的な「学び」に特化した広報があると良い。 学校や市民団体でも活用しやすい行政の出前講座もまだまだ認知が低いので、社会教育団体の活動だけでなく、出前講座や松戸市市民活動サポートセンターの講座とも情報連携出来るような垣根を越えた発信が欲しい。</p>	<p>推進のための方策を具体的に検討していくこととなりますが、令和5年度から市民活動団体もまなびいネットに登録され、団体活動の充実を支援していきます。今回頂戴したご意見をはじめとし、市民のニーズに幅広く対応できるよう努めて参ります。</p>	無
25	第4章 施策 の方向と計画 事業	P29 (P27)	<p>・No.23「図書館整備計画の推進」 地域の情報拠点や交流拠点としての図書館整備を計画的に進め、多様化する課題解決支援機能や50万都市に見合った情報拠点機能を実現します。とあります。新拠点開発地域の中央図書館の建設にあたっては、有識者や関係団体含めた市民の意見を是非反省して計画推進をお願いします。 松戸駅東側の開発で中央図書館が複合施設内に、ということも聞こえてきますが「本館」は松戸市の顔です。市内50万人以上の来場者を見込んだ近隣他市からの来場者を見込んでの駐車場確保はもちろん、図書館の床面積・蔵書・貸し出し率など目指す指標を掲げて松戸市の顔となる図書館を。 また、逆に松戸市は支所が多いので「貸し出し」「返却」の利便性を上げていく施策も同時に行う事で市民の「図書館への興味関心」を挙げる施策など、今既にある資源の有効活用も合わせてお願いしたい。</p>	<p>意見No.20に記載のとおりです。</p>	無
26	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	<p>・No35「(仮称)生涯学習人材バンクの開設」 こちらは是非推したい事業です。ここ数年「社会教育士」の文部科学省の取り組みも注目を集めています。 https://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/mext_00667.html 行政や団体で活動している人が優先ではあるが、一般市民でも枠があれば受講し資格取得ができるそう。(一昨年応募したが枠がいっぱいで受講できず)松戸市にも受講・取得者がいるのでそういった方の積極的な活用、または松戸市として社会教育士の受講募集や勉強会などがあると松戸市の取り組みも一層活気づくのでは?と思う。 松戸市は市民にパワーもスキルもあるので、そこを繋げていくような人材の確保が出来れば自然と街は活性化すると思う。(こういった人を繋ぐのも図書館の役目)。 個人的に、またこちらの取り組みが脚光を浴びる時代になったとも感じるので、計画のどこかに盛り込んでいただきたい。 「日本初の「松戸フューチャーセンター」がオープン」 https://www.city.matsudo.chiba.jp/matumado/h27/mcfc.html</p>	<p>意見No.15に記載のとおりです。</p>	無
27	第4章 施策 の方向と計画 事業	P29 (P27)	<p>II-1-1の図書館機能の向上について 昨年市外から松戸市に転入してきましたが、これまでに居住したいずれの市区町村よりも図書館の蔵書数、機能に不足を感じています。 現行の図書館整備計画をみても、千葉県の平均の一人当たりの蔵書数(県平均3.47冊、松戸市1.2冊)、予算額(県平均170円、松戸市127円)は大きく平均を下回っている状況です。本計画案で改善案が示されていますが、目標とされている蔵書数についても県平均を大きく下回る2.4冊となっており、より充実した目標設定とするべきと考えます。目標値は市川市などの近隣市の現状の蔵書数相当ですが、近隣市町村の蔵書数も増加傾向にあり2030年には目標値を上回る蔵書数となることが予想されます。 また、学びたいときに学べる環境を構築するためにも、書架の収納量などのハード面の課題を解決するためにも、電子書籍の導入についても検討・導入する旨、本計画案において言及する必要があると思います。小中学校に配置されているタブレット端末で電子書籍を利用するなど効果的な教育につながると思います。</p>	<p>意見No.20に記載のとおりです。</p>	無

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
28	第4章 施策 の方向と計画 事業	P25 (P23)	No.13 松戸音楽フェスティバルの開催 について 「音楽のまち松戸」の取り組みが始まったのはとても良いと思うのですが、松戸音楽フェスティバルが始まってから、それ以前にあったポップカルチャーのイベントがなくなってしまったようで残念です。ポップカルチャーにも関わるコンテンツ産業は松戸市としても振興に取り組まれているものだと思います。ポップミュージックやヒップホップ等も音楽イベントに取り込むなどして、広く豊かな音楽を楽しめる松戸になると良いと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。事業推進の方策に係るご要望として、参考にさせていただきます。	無
29	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	No.34 居場所事業の開催日数 について 月8日なら週2日にはなるのかと、機会が増えると良いと思います。居場所事業の拡大に期待しています。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。事業推進の方策に係るご要望として参考にさせていただき、青少年が自立し、主体的な人生を送ることができるよう、居場所を基軸とした体験や交流機会の充実を図って参ります。	無
30	第4章 施策 の方向と計画 事業	P35 (P30)	No.35 (仮称)生涯学習人材バンクの開設 について いわゆる部活の地域移行にも関わるものかと思えます。教えたい人が知識を持っていたとしても、教える技術や資質を持っているかどうかは別問題です。教えるのに相応しくない人を知識だけでマッチングしてしまうとトラブルにならないか心配です。マッチングの前に、教える技術や心構えについての講習環境を整えてほしいと願います。	意見No.15に記載のとおりです。	無
31	第4章 施策 の方向と計画 事業	P36 (P31)	III-2-1 ICTを活用した学びの支援の充実を図ります 「図り」の「り」がカタカナになっています。	誤字につきましてご指摘をいただきありがとうございます。修正させていただきます。	有
32	第4章 施策 の方向と計画 事業	P36 (P31)	No.37 ICTを活用した講座等の動画視聴回数 について 博物館の講座なども配信や録画で見られるようになると良いと思います。総務部男女共同参画課のゆうまつどでのイベントは配信もあるものがあり好感が持てます。ゆうまつどでの講座や図書の貸し出しもp65に定義される「社会教育」に含まれるように思いますが、ゆうまつどライブラリーの図書は松戸市立図書館の蔵書検索では出てこないようで、やはり「社会教育」には含まれないのかと思いました。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。ゆうまつどで実施される事業について、用語の定義においては「社会教育」に含まれる部分があるものと考えますが、本計画では、生涯学習部の事業を記載しております。市としての事業推進に係るご要望として、参考にさせていただきます。	無
33	第4章 施策 の方向と計画 事業	P36 (P31)	No.38 まつどデジタルミュージアムの閲覧数(アクセス数) について テーマやストーリーに沿って整理して解説をつけたサンプルがあると、ふらっと見ても面白いのかと思います。今は予備知識や明確な目的がないと、「何か色々あるけどそれ以上よく分からない」のかと思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。関係部署と共有し、事業推進の方策に係るご要望として、参考にさせていただきます。	無
34	第4章 施策 の方向と計画 事業	(P31)	III-2-2 市民のための学習相談体制の充実を図ります 「図り」の「り」がカタカナになっています。	誤字につきましてご指摘をいただきありがとうございます。修正させていただきます。	有
35	第4章 施策 の方向と計画 事業	P37 (P32)	No.39 図書館における情報化の推進 について 事業内容は松戸市立図書館の蔵書検索などを指している印象を受けますが、指標にある「オンラインデータベース」とは市外の民間等のデータベースの検索が出来るというものなので、ちぐはぐな印象を受けました。勿論この提供場所は拡大してほしいと思いますが、事業内容に合わせた指標は「分館を含めたwi-fiの利用の拡大」になるのではないのでしょうか。	意見No.20に記載のとおりです。	無

No.	項目	計画書の頁 (パブコメ案の 頁)	意見内容	意見内容に対する市の考え方(案)	修正有 無
36	第4章 施策 の方向と計画 事業	P38 (P32)	No. 40 レファレンスサービス提供場所の拡大 について レファレンスサービスこそ図書館ならではのものなので、レファレンスサービスがあることをもっとアピールしても良いと思います。具体的な例があると分かりやすく、利用者も増えると思います。 松戸市立図書館のホームページでは、レファレンスサービスについて「気軽にお声掛けください」とありますが、2箇所しかできないとは書かれていません。 レファレンスサービスを2箇所から3箇所にしか増やせないのであれば、オンラインでレファレンスサービスを利用できるようにできると良いのかとも思います。	意見No. 20に記載のとおりです。	無
37	第4章 施策 の方向と計画 事業	P38 (P32)	No. 41 図書館職員における司書資格保有者の割合 について 令和12年度までに59.3%を60%にしか増やせないのでしょうか。松戸市に司書専門職の正規採用があることは評価したいものです。松戸の学びを支えるためにも司書資格保有者は60%を上限とせずに増やしてほしいと願います。	意見No. 20に記載のとおりです。	無